

令和元年度兵庫県・播磨広域合同防災訓練の実施概要

1 目的

山崎断層帯を震源とする直下型大規模地震とその後の風水害の発生を想定し、関係機関、団体、自主防災組織等が相互に連携した実動訓練に加え、住民参加型の救出救助訓練や展示、体験、啓発を通じ、県民の防災意識の更なる高揚を図り、地域防災力の向上に資する。

2 実施日時

令和元年9月1日（日）10:00～12:00

3 実施場所

- (1) たつの市揖保川左岸千鳥ヶ浜河川敷（メイン会場）
- (2) たつの市龍野体育館（一般避難所訓練）
- (3) たつの市社会福祉法人円勝会（福祉避難所訓練）
- (4) たつの市室津漁港（物資海上搬送訓練）
- (5) 宍粟市山崎スポーツセンター（孤立集落救出救助訓練）
- (6) 太子町社会福祉法人大和福社会（福祉避難所訓練）

4 訓練参加予定数

約1,500人（たつの市：約600人、宍粟市約130人、太子町約20人、約70機関：約750名）

5 想定

山崎断層帯地震の発生及びその後の風水害による被害

6 訓練の特徴

(1) 訓練内容の多様化

- ア 孤立集落を想定した救出救助、物資搬送訓練
- イ 風水害被害を想定した水防訓練
- ウ マイ避難カードを活用した避難訓練
- エ 船舶を使用した物資海上搬送訓練
- オ ドローンの活用（医療物資搬送、映像配信）
- カ 複数の救助機関が連携した倒壊家屋等からの救出救助訓練
- キ 身近な用具を用いた住民参加型の救出救助訓練

(2) 多会場連携型の訓練

メイン会場以外に宍粟市では孤立集落救出救助訓練を、太子町では福祉避難所設置運営訓練を実施

(3) 地元高校生の訓練参加

- ア 龍野高校放送部員による訓練進行のアナウンス
- イ 龍野北高校生による負傷者役等のボランティア参加

(4) 防災相互通信波用無線の活用

災害現場で組織の枠を超えた通信が出来る「防災相互通信波用無線」の活用

(5) 体験型防災アトラクションの導入

防災知識や自助、共助を学ぶことが出来る体験型アトラクションの導入

7 重点訓練内容

(1) 実動訓練

- ア 被害状況（上空）調査訓練
- イ 道路啓開訓練
- ウ 救出救助（孤立者、倒壊家屋、車両）訓練
- エ 水防、越水対策訓練
- オ 救護所設置運営訓練
- カ 負傷者広域搬送訓練

(2) 災害時要援護者支援訓練

- ア 災害時要援護者避難訓練
- イ 福祉避難所（福祉避難スペース）開設・運営訓練

(3) 避難所開設・運営訓練

- ア プールの水を活用した生活用水確保訓練
- イ 外国人避難所設置運営訓練
- ウ 避難所物資搬送訓練
- エ ペット同行避難訓練
- オ ボランティアセンター設置運営訓練
- カ 炊き出し訓練

(4) 広域物資搬送訓練

- ア 広域防災拠点からの物資搬送訓練
- イ 民間事業者による避難所までの物資搬送訓練

(5) その他

- ア 地震の揺れ体験（起震車）
- イ 災害対応車両等展示
- ウ 展示ブース（室内安全対策等）

8 主催

兵庫県・播磨広域合同防災訓練実行委員会

（兵庫県、播磨広域連携協議会（中播磨・西播磨管内5市6町））

9 参加機関・団体

兵庫県、たつの市、宍粟市、太子町、播磨広域連携協議会、西はりま消防組合、姫路市消防局、赤穂市消防本部、三木市消防本部、自衛隊、海上保安本部、神戸地方气象台、近畿地方整備局、兵庫県警察、日本赤十字社、兵庫県災害医療センター、医療関係機関（DMAT、JMAT）、兵庫県医師会、兵庫県看護協会、兵庫県歯科医師会、兵庫県歯科衛生士会、兵庫県薬剤師会、兵庫県臨床検査技師会、兵庫JRAT、兵庫県国際交流協会、ひょうごボランティアプラザ、ひょうご災害ボランティアシニアクラブ、兵庫県栄養士会、兵庫県防災士会、兵庫県トラック協会、ヤマト運輸(株)、日本レスキュー協会、たつの市社会福祉協議会、龍野ろうあ協会、たつの市身体障害者協会、たつの市連合自治会、たつの市連合婦人会、社会福祉法人円勝会、社会福祉法人大和福祉会、兵庫県石油協同組合、神戸学院大学、兵庫県立龍野高校、兵庫県立龍野北高校、ライフライン関係機関、自主防災組織等